

2012 東京「障害」児教育研究集会

10月27日(土)
会場 ラポール日教済

受付 9時30分
開会 10時

共に学び共に育つ教育を進めるために

I 全体会 (10:00~12:00)

- (1) 第61次日教組教研報告
- (2) 記念講演

一木 玲子さん

筑波技術大学障害者高校等教育支援センター准教授
専門はイタリア及び日本のインクルーシブ教育制度と実践
障害者権利条約批准・インクルーシブ教育推進ネットワーク事務局、障害児を普通学校へ・全国連絡会運営委員
著書:「特別支援教育における包摂と排除」『公教育における包摂と排除』八月書館

どう変わったか! 学校教育法施行令 どう変わる? 共に学ぶ教育

7月に中央教育審議会で「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」(特特委)の報告が承認されました。この報告に基づいて、文科省は学校教育法施行令改正への具体的な作業を進めています。

一部、新聞報道では、文科省が就学制度を改め、障害のある子ども普通学級へ入りやすくなるかの報道がされていますが、実際はどうなのでしょう。

まだ、改正案が出されていませんが、特特委をずっと傍聴し、国会議員へのロビー活動も精力的にされてきた一木さんから、詳しい経過を伺い、今後の運動の進め方を皆で考えていきたいと思えます。

ご参加ください。

主催: 都障労組 東京教組
(03) 3223-8616 (03) 5276-1311

II 分科会 (13:00~16:30)

第一分科会

特別支援教育によって、小・中学校、特別支援学校はどのように変わってきたか、その実態を出し合い、今後の取り組みを話し合います。

「インクルーシブ教育で何が変わるか
~共に学ぶあう学級づくりの経験から~」

牛島 貞満 (大田区立 嶺町小学校)

「特別支援学校の現在」
~肢体不自由校から見えるもの~

鈴木 孝夫 (城南特別支援学校)

木崎 禎二 (小平特別支援学校)

第二分科会

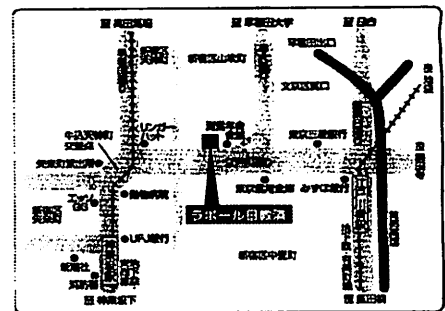
高校受験やその後の高校生活、地域での自立生活への取り組みの報告を受け、課題や今後の取り組みを話し合います。

「高校に入ってから」

孝本 敏子 (元都立高校教員)

「関係性の中での自立生活」

林田 徹也 (一人暮らしを始めた当事者)
支援者 (えるぶ・たこの木クラブスタッフ)



- ・ JR線(有楽町・市ヶ谷・池袋)から地下鉄有楽町線(江戸川橋駅)2番出口より徒歩6分
- ・ JR線(大手町・飯田橋・高田馬場)から地下鉄東西線(神楽坂駅)矢来町方面出口より徒歩5分